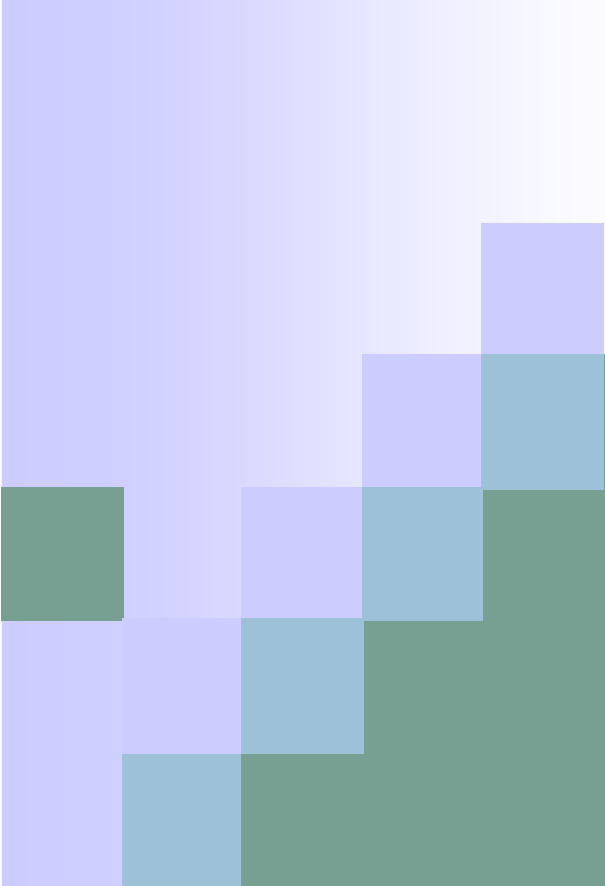




JAみなみ信州における 支所長機能と 地域活性化の現状

平成24年2月29日
第13回「人づくり研究会」
JAみなみ信州
代表理事組合長
矢澤 輝海



本日の内容

- 南信州地域の概況
- 地域事業本部制とは？
- なぜ支所制とするか？
- 支所長が果たす役割
- 今後の方向性

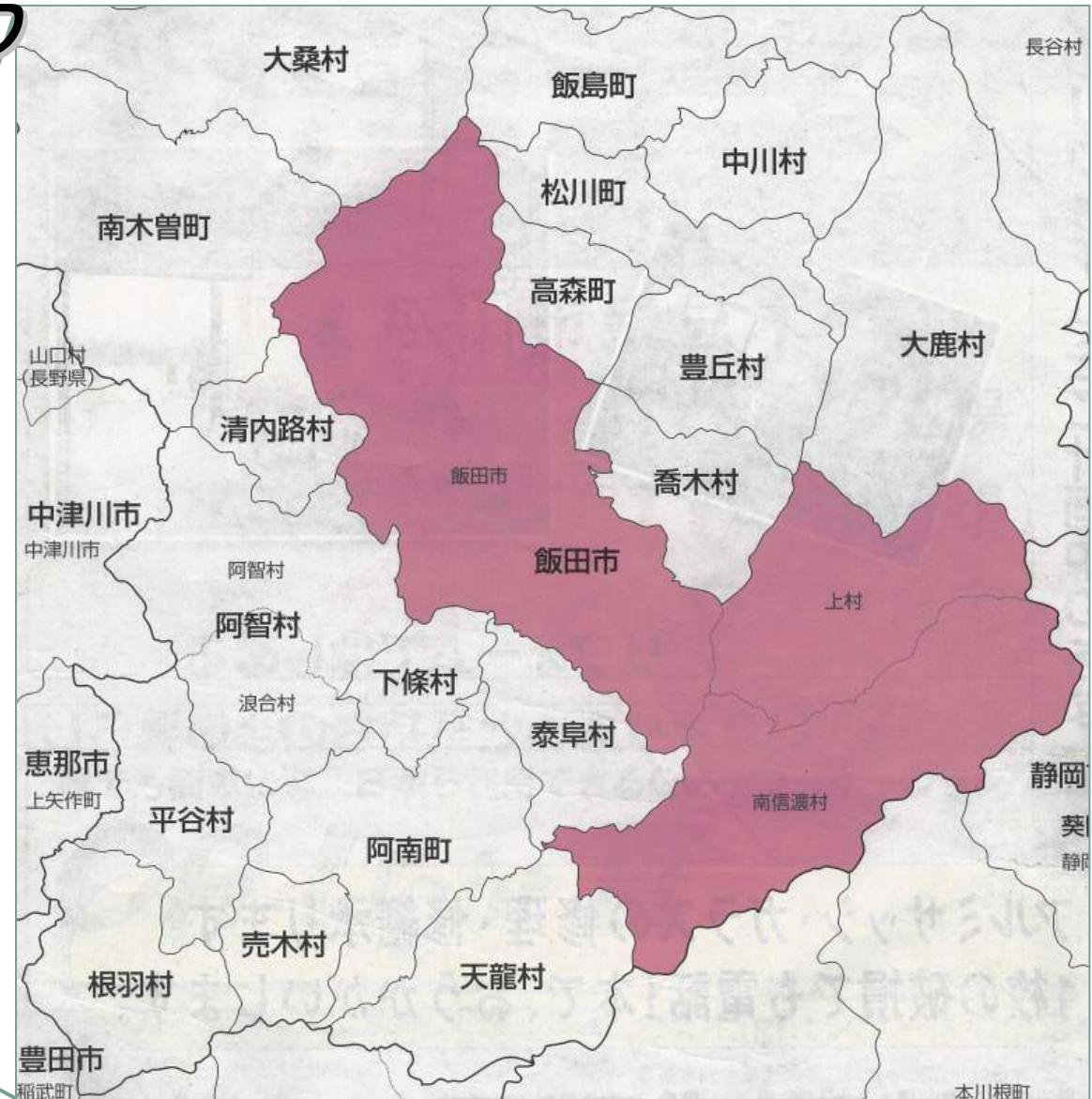
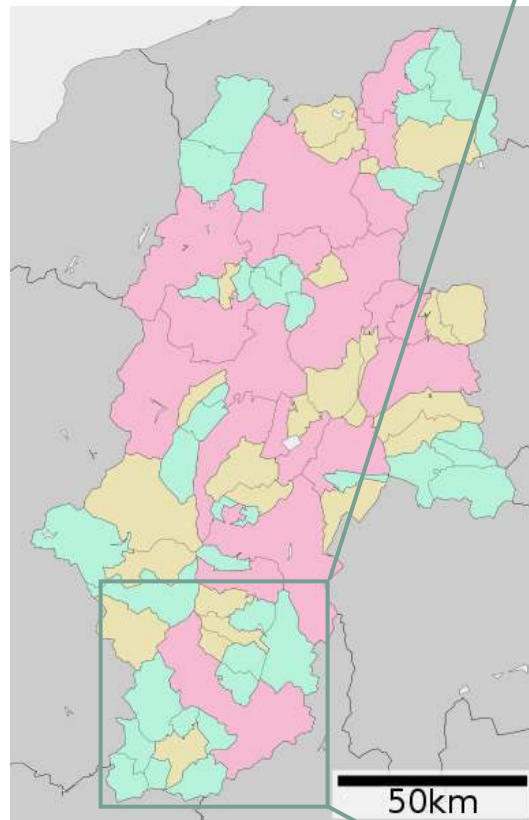


南信州までの距離

- ①東京・大阪から車で約4時間
- ②名古屋から車で約1時間半
- ③長野市から約3時間



事業エリア





地域ごと地理的条件はさまざま





人・自然・文化の特長

- ・ 人口約17万人、進む高齢化
- ・ 耕地面積は全体の5%（農地が少ない！）
- ・ 県平均に比べて樹園地率が高い（34%）
- ・ 3月中旬から4月末まで桜が咲いている
- ・ 歌舞伎・人形浄瑠璃・屋台獅子
- ・ 7月から9月中旬まで花火を見られる



養蚕業から果樹産業へ

養蚕業は全国屈指の産地だった

桑畑を果樹園へ

畜産・施設園芸が発展

市田柿をブランド化



長野県第一号の地域団体商標

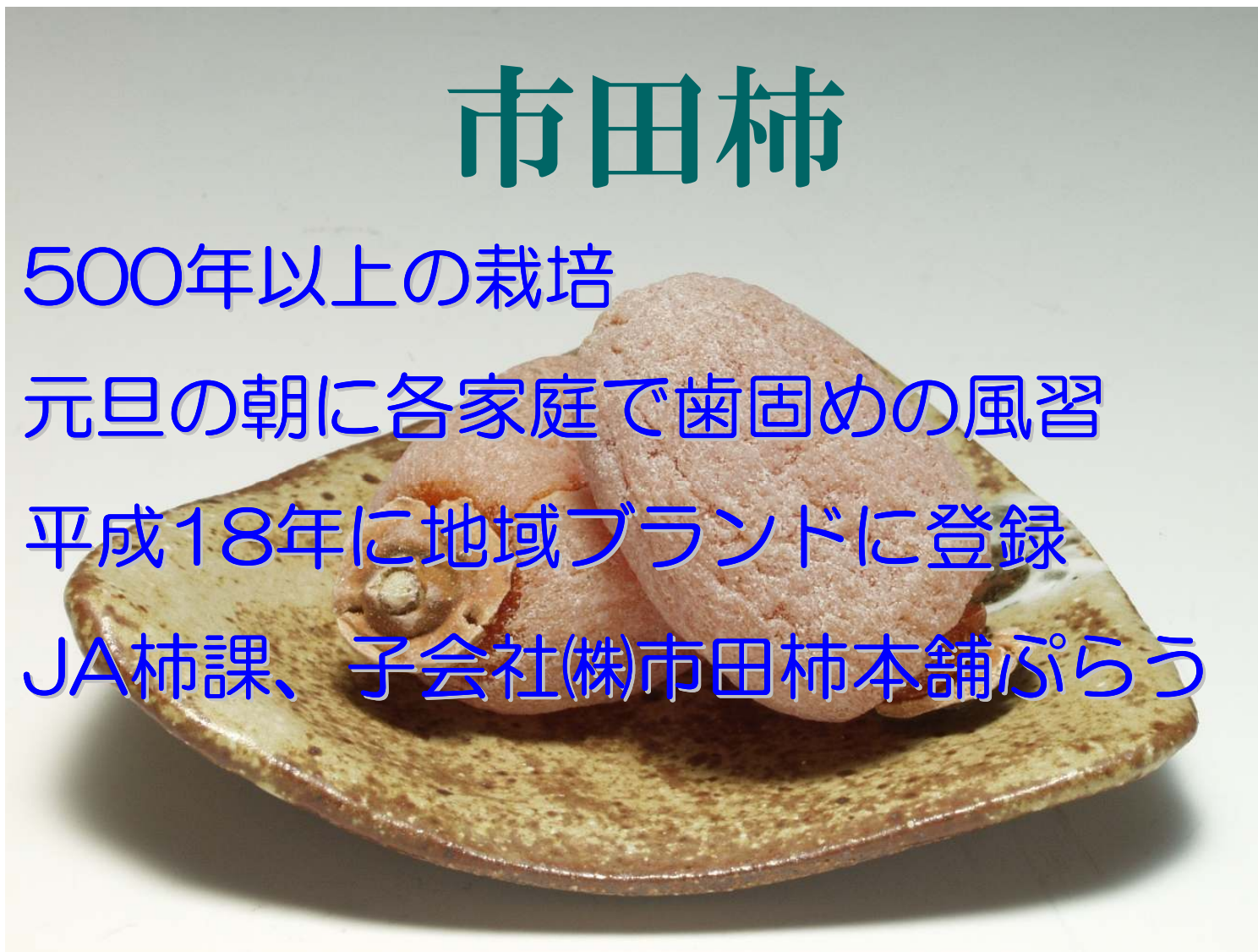
市田柿

500年以上の栽培

元旦の朝に各家庭で歯固めの風習

平成18年に地域ブランドに登録

JA柿課、子会社(株)市田柿本舗ぷらう



進む農畜産物のブランド化





合併の経過

信州**まつかわ**農業協同組合
(平成2年3月1日)

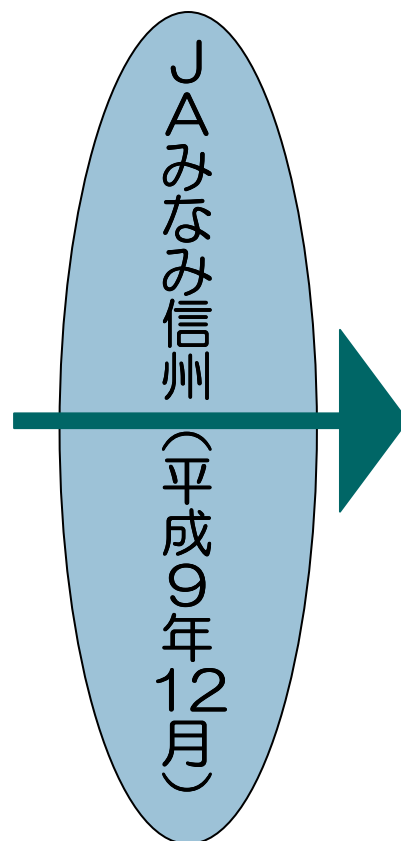
信州**高森**農業協同組合
(昭和57年6月1日)

天竜**みさと**農業協同組合
(平成5年3月1日)

信州**いいだ**農業協同組合
(平成3年12月1日)

阿智村農業協同組合
(平成7年3月1日)

信州**みなみ**農業協同組合
(平成5年3月1日)



まつかわ地域事業本部

高森地域事業本部

みさと地域事業本部

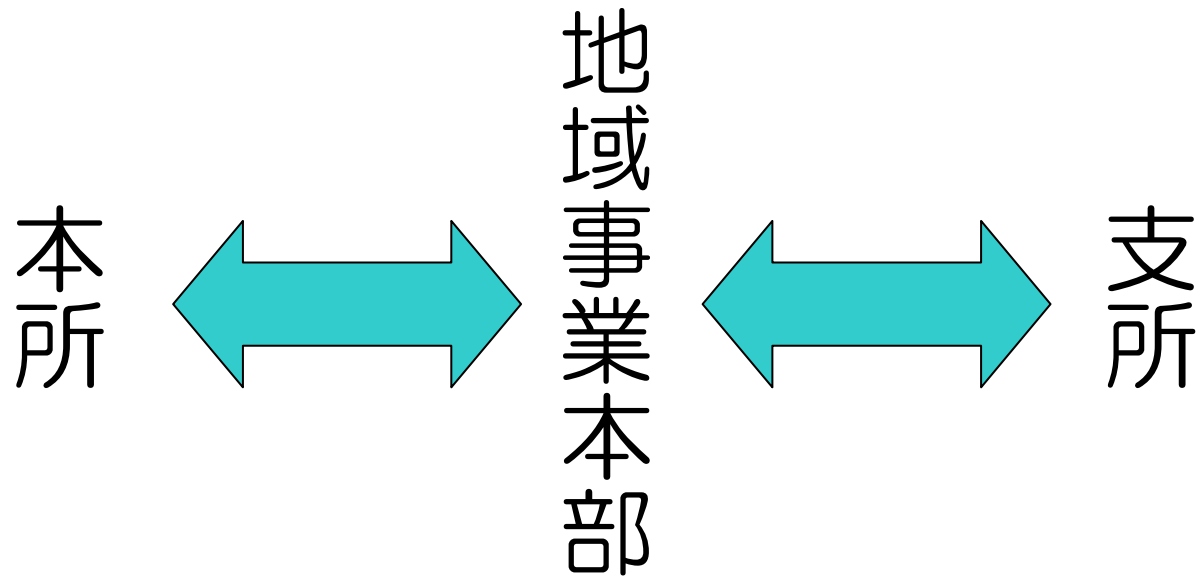
いいだ地域事業本部

阿智地域事業本部

みなみ地域事業本部



なぜ地域事業本部だったか？





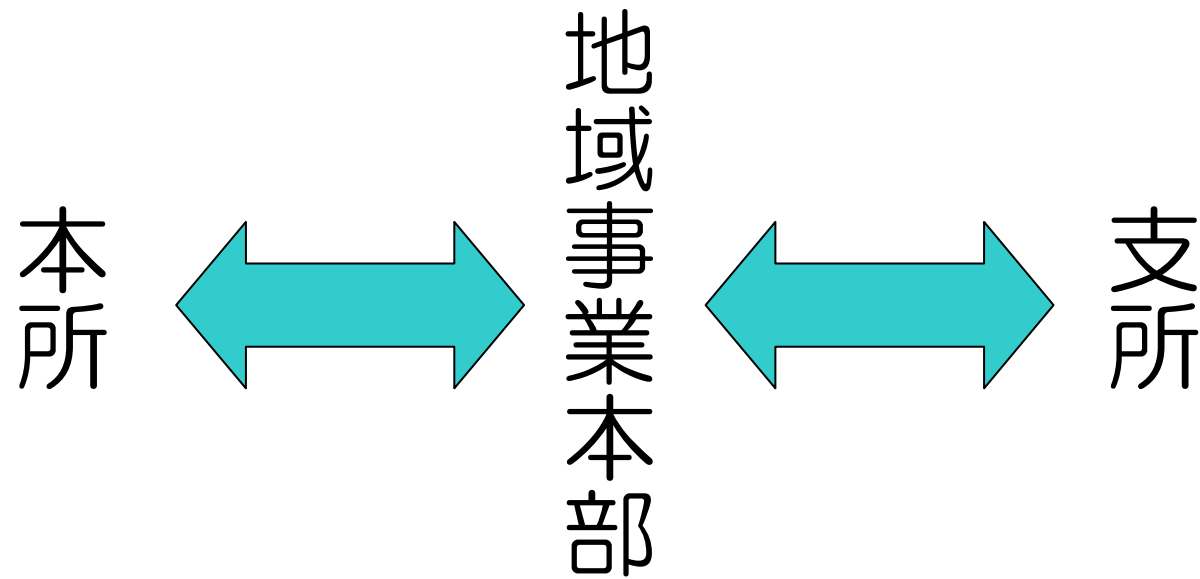
地域事業本部制の目的 ～経営主体の体制づくり～

- ・ 地域事業本部の経営責任を明確にする
- ・ 責任の細分化と意思決定の迅速化
- ・ 常務を設置して組合員・行政対応を行う
- ・ 本所は最小限の人数で対応する

下伊那JA合併推進委員会「合併経営計画書・合併予備契約書」より



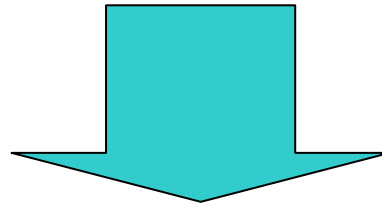
地域事業本部制の弊害





弊害を埋める施策

- ・ 地域事業本部の常務理事を廃止
 - ・ 販売手数料の統一化



組合員対応における不透明な責任



現在の規模

- ◆正組合員18,867人,准組合員10,938人
- ◆役員46人（理事37人、監事9人）
- ◆職員951人
- ◆貯金 2,663億2,229万円
- ◆共済長期保有契約高 1兆2,659億円
- ◆販売取扱高 163億9,037万円
- ◆購買事業 90億6,441万円

平成22年度事業報告書より



地域事業本部制検討委員会設置

1. 理事会の諮問機関として
2. H22年5月～H23年1月（1月末答申）
3. 諮問事項：
地域事業本部制の存続または解消について「合併予備契約書付属書覚書」及び「JAみなみ信州経営診断書」をもとに検討し、今後のあるべき組織の原案を決定

平成22年4月理事会



今後のあるべき組織の原案①

地域事業本部制の目的だった「組合員を中心とした事業展開」「経営責任を明確化した経営管理」「意思決定の迅速と組織の活性化」は一定の成果を得た。

経営環境激変の中、JAとして事業・組合員組織活動の一体化が進んだ現在では、「拠点の平準配置のさらなるスリム化」「意思決定の迅速化」が求められており、今後のあるべき組織として、地域事業本部を解消し11総合支所を拠点とした地域密着型の組織・事業展開を行うものとする。

平成23年1月理事会



今後のあるべき組織の原案②

総合支所を拠点とした組織・事業展開の 留意点

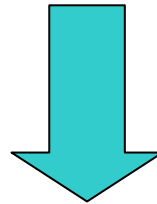
- (1) 地域特性を考慮した支所運営を心がけること。
- (2) 組合員や地域に関する事項については、総合支所を基本とする。
- (3) 事業推進は基本方針に沿い、支所機能を十分に発揮すること。

平成23年1月理事会



地域事業本部制を廃止

平成23年度通常総代会で
地域事業本部制廃止を承認

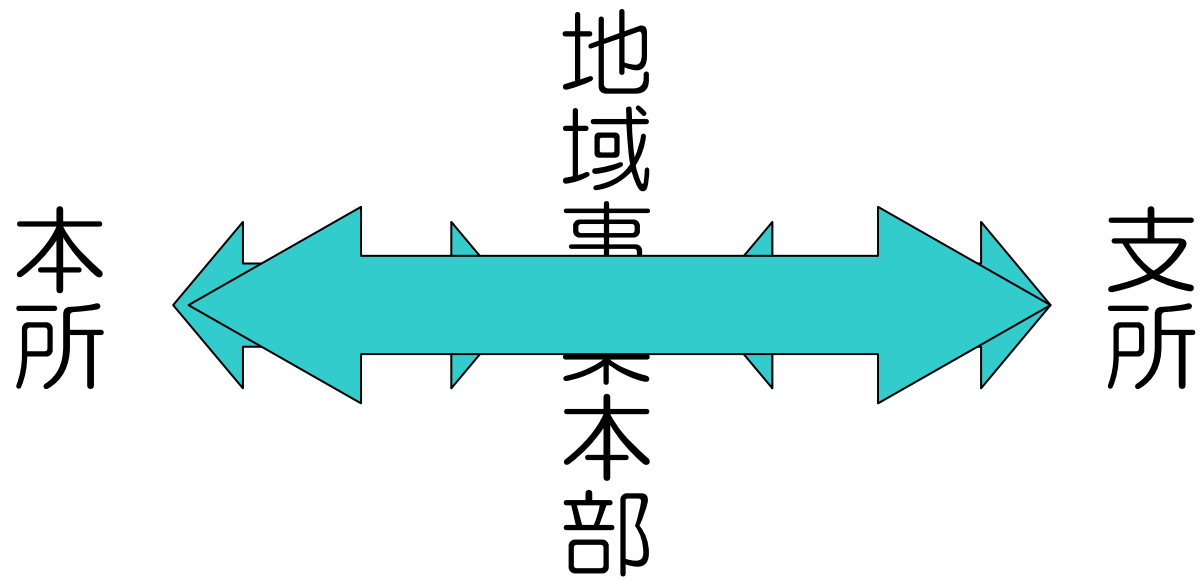


11 総合支所

(組合員課・営農課・金融課・共済課)

5 専門支所

(金融課)





支所制の目的

- ・ 支所長権限の強化
- ・ 役職員一体となった支所の経営
- ・ 支所がよりどころとなる組合員対応



目的を基本として・・・

- ・ 役職員一体となった経営会議を行い、収支の把握と今後の運営の方向付けを行う。
- ・ 職員1人1人の責任を明確にする
- ・ 職員の働き甲斐ができれば、組合員に信頼され、頼られるJAができる



支所長への期待①

組合員 . . .



支所長への期待②

職場・・・



支所長への期待③

経営 . . .

支所長が果たす役割





支所長は、
組合員と一体となった
組織活動ができる
最前線である！



最前線の支所長機能



本所がめざすもの

本所は支所の方針に対してどう対応すべきかを考えながら全体を調整し、組合員に頼られ、JA全体及び南信州地域全体を活性化できるJAをつくる。



平成24年度組合員向け広報誌『しあわせ』で
連載する新たなシリーズは・・・

「支所発！本音トーク」

- ・24年3月号から25年2月号まで全11回連載予定
- ・利用者・組合員・行政・役員・職員の絆を強化する
- ・支所長が関係者を集め、地域の路線を打ち出す
- ・親しまれる「支所だより」も定期発行



連合会への期待

全国連の役割は増す。

組合員→JA、JA→連合会として。

組合員を持ち上げる連合会を。



JA支所が人と地域をつくる！

